

研究課題名	全身臓器における口腔細菌の存在・分布と病態との関連の解明
研究期間	実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2023年3月1日～2026年3月31日に広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センターにおいて解剖が施行された方
研究の目的・方法	<p>研究目的：口腔内とその他臓器で実際に機能する口腔細菌の有無と分布を明らかにし、むし歯をはじめとする歯科疾患と全身の病気との関連を検討することです。法医解剖で実施した検査結果と全身の各部位の検査検体を用いて、口腔細菌の存在を検証するとともに口腔内の状況・死因との関連について比較検証を行います。</p> <p>研究の方法：全身の各部位の検査で使用した残りの検体から細菌を培養するとともに、細菌の遺伝子解析を行ってその種類を同定します。検出された細菌・細菌の集団と検出部位、口腔内の状況・死因との関連について比較検証を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：解剖時検査データ、画像検査データ、薬物検査データ、病理組織検査データ</p> <p>試料：解剖時の全身の各部位の検査で使用した残りの検体</p> <p>管理責任者 広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センター主任特任学術研究員/特命講師 岡広子</p>
利用または提供を開始する予定日	2023 年 3 月 15 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	<p>試料・情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付け、個人が特定できないよう加工した上で使用（提供）します。</p> <p>個人と連結させるための対応表は、広島大学の研究責任者が保管・管理し外部へ提供することはありません。</p>
外部への試料・情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 九州大学への情報提供は、パスワードを施して保存した状態で共同研究者が直接運搬あるいは郵送します。 解析のために広島大学で試料から抽出した DNA を適切に梱包した状態で共同研究者が直接九州大学まで運搬あるいは郵送します。
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センター主任特任学術研究員/特命講師 岡広子</p> <p>研究機関の長 広島大学理事 田中純子</p>

	<p>研究代表者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センター 主任特任学術研究員/特命講師 岡広子</p> <p>共同研究機関</p> <p>九州大学歯学研究院 教授 竹下徹</p>
その他	開示すべき利益相反はありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方の代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>問合せ先</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科附属死因究明教育研究センター 主任特任学術研究員/特命講師 岡広子 〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-1794</p>